



あかちゃんのひろばから

こんにちは

平成29年2月

あかちゃんのひろばへようこそ！

前回1月17日(火)のあかちゃんのひろばは、2組の親子が参加して、離乳食講座を行いました。栄養士の指導の下、実際に後期の離乳食を作ったり、試食をしたりしました。離乳食を作りながら、同じくらいのお子さんを持つ親御さん同士、ゆっくりお話ししたり、栄養士も交えての食事のお悩み相談などもしていました。

今日はおもちゃを紹介します。赤ちゃんは遊ぶことが学びです。目と口を見て人の顔と認識するところから始まり、目と手の協応、握って離す、舐める・振るなど物で遊びます。音や光、感触を楽しんでいます。日々成長する赤ちゃんのエネルギーはすごいですね。その時々で月齢ややりたい要求にあったおもちゃ、遊びを用意してあげられたらよいですね。

保育園は子育て仲間を応援しています。

いつでも気軽に寄ったり電話してくださいね。

子育て支援担当 北町保育園副園長 太田奈美

あかちゃんの遊び(おもちゃ)

手のひら全体を使ってわしづかみのように物を持っていた赤ちゃんが、手にした物をなめたり振ったりするだけでなく、次第に指先でつまんだり、持ったものを相手に渡そうとしたりします。

あやしかけるなど人とかかわり遊ぶことも大切ですが、じっくりと物にかかわって遊ぶ時間も赤ちゃんにとっては大切です。

「何だろう?」「どうなっているのだろうか?」「こうすると面白いのかな?」と遊びながらいろいろと思いを巡らせて、考える力につながっています。赤ちゃんは自分の手足も、おもちゃのように触れていることがありますね。

赤ちゃんは穴にポトンと物を落とす遊びも大好きです。入れることそのものが面白かったり、落ちる音を楽しんだり・・・大人を見てにっこり、「できたよ」「おもしろいね」と共感を求めたりします。ビニール袋やハンカチなどの布をつなげたものを入れてどんどん引き出すことも楽しいですよ！

ただつまめる小さい物は口や鼻に入ると危険なので、目を離さないようにして遊びましょう。

※遊んでいる子どもは危険に気がつかないことも多いので、大人は常に危険を予測しながら、遊ぶように心がけましょう。

